

県立図書館だより

令和5年6月

青森県立図書館報 第46号

近代文学館リニューアルオープン



明るくなった常設展示室

近代文学館は設備修繕及び改修が終了し、4月1日よりリニューアルオープンしました。展示室内のほぼ全ての照明がLEDとなり、明るく、資料に優しい環境となりました。また、常設展示の内容(展示資料と解説)を充実させ、平成・令和の作家のコーナーも新設しました。

目次

近代文学館リニューアル	1
特別展「あおもりのえほん」	2
バリアフリーサービスの充実	3
こどものひろば	4
ご存じですか？この人・この資料～郷土資料の紹介～	5
ようこそ文学館へ！近代文学館資料の紹介	6
カウンターからひとこと	7
県立図書館の利用案内	8

特別展「あおもりのえほん」

三戸町生まれの漫画家・馬場のぼるによる絵本「II ぴきのねこ」シリーズをはじめとして、作家や児童文学者、漫画家、芸術家など、様々な分野で活躍する青森県出身者が作成した「あおもりのえほん」をご紹介します。

○会期：令和5年7月1日（土）～10月9日（月・祝）

※会期中の休館日：7月12日、7月27日、8月24日、9月13日、9月28日

○場所：青森県近代文学館 企画展示室（青森県立図書館2階）

○開館時間：9:00～17:00（観覧無料）

○関連イベント ※全て予約不要・参加無料

・イベント① 絵本の講演会「心とことばを育てる絵本の力
親子の時間を楽しむために」

日時：7月29日（土）14:00～15:30

場所：青森県立図書館4階集会室

講師：関谷裕子氏（元こぐま社編集長）

内容：馬場のぼる氏の担当を22年間務めた関谷氏に、
絵本の魅力についてご講演いただきます。

・イベント② 劇場アニメ「II ぴきのねこ」上映会

日時：7月30日（日）14:00～15:30

場所：青森県総合社会教育センター大研修室

内容：劇場アニメ「II ぴきのねこ」を上映します。

・イベント③ 「あおもりのえほん」おはなし会

出演：稲葉千秋氏（青森朝日放送アナウンサー）

青森南高校JRC部

日時：8月6日（日）14:00～15:00

場所：青森県立図書館4階集会室

内容：「II ぴきのねこ」シリーズや青森南高校JRC部
オリジナルの絵本の読み聞かせをします。



クマくんのカレー
さく・え
ふなはし まな ならおか りみ



◆予定が変更となる場合がございます。最新の情報は当館ホームページにてご確認ください。◆

バリアフリーサービスの充実

当館では、障害のある方や読書が困難な方などのために、図書館を利用しやすい環境を整えています。令和5年3月には、「バリアフリーサービス 紹介コーナー」をリニューアルしました。

○ 「バリアフリーサービス 紹介コーナー」について

一般閲覧室カウンター向かいに設置している「バリアフリーサービス 紹介コーナー」をリニューアルしました。

当コーナーには、当館のバリアフリーサービスを紹介するチラシやブックリスト等を設置しています。

チラシ「バリアフリーサービスのご案内」には、館内の地図やバリアフリーサービスに関わる機器や用具等について掲載しています。

ブックリストは、当館で所蔵している LL ブックやデージー図書等を掲載しています。デージー図書を利用したい場合は、ブックリスト「デージー図書所蔵一覧」からお選びいただきます。

また、青森県視覚障害者情報センターに関するパンフレットを設置しています。



○ 当館ホームページ内にバリアフリーサービスのページを公開しました

当館ホームページ内に、バリアフリーサービスのページを公開しました。

読書バリアフリーに係る機器や用具、アクセシブルな書籍の紹介等を行っています。コーナーに設置しているチラシの一部も公開していますので、是非ご覧ください。

<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/user-guide/service/barrier-free/post-3.html>

こどものひろば



新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながら、県立図書館4階の集会室で開催していた「おはなし会」と「おしえて先生！知るしるする探検隊」。

2023年4月からは、必要な対策を講じた上で、会場を約3年ぶりに児童閲覧室内のおはなしコーナーに戻して開催しています。



児童閲覧室おはなしコーナー



4月8日「おはなし会」の様子

4月8日は、待ちに待ったおはなしコーナーでの「おはなし会」。これまで遠く感じていた子どもたちの表情や反応を、より近くで感じながら読み聞かせすることができ、スタッフ一同、嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

コーナー内で保護者に抱っこされながら参加する子どもの姿や、楽しそうな読み聞かせの様子に、途中から参加する子どもの姿も見られました。



4月22日「おしえて先生！知るしるする探検隊」の様子

4月22日開催の「おしえて先生！知るしるする探検隊」では、青森明の星短期大学教授の成田恵子先生と一緒に、「英語絵本の読み聞かせを楽しみましょう」というテーマで、英語の世界を探検しました。子どもたちと直接コミュニケーションをとりながら、英語で話すことの楽しさや、英語絵本の楽しみ方について、お話をしていただきました。

今年度は、おはなしコーナーを会場に、これまで以上に「楽しい！」「また来たい！」と思ってもらえるようなイベントを開催していきたいと思っています。皆様のご参加を心からお待ちしています。

2023年度 児童閲覧室のイベント

◎おはなし会 毎月第2土曜日

◎おしえて先生！知るしるする探検隊 毎月第4土曜日(12, 3月を除く)

どちらも時間は14時から14時30分まで、事前申込は不要です。

児童閲覧室おはなしコーナーで待ってるよ！

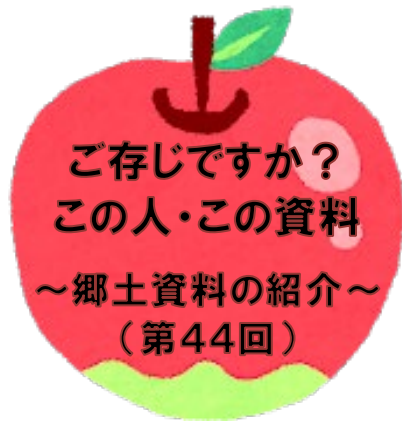
※詳細は青森県立図書館ホームページ「こどものへや」をご覧ください。

<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/kids/>

6月の探検隊は、拡大版！

青森市レクリエーション協会の
塩谷彰宏先生と「親子ビンゴ大会」
をするよ！





青森県立図書館では、内容が青森県に関する主題となっている資料を「郷土資料」として収集しています。

郷土資料の中には、出版社が刊行する資料だけでなく、ごく限られた範囲に配布するための私家版や、個人で出版費用を自己負担する自費出版の資料も多く見られます。

最近では「こんな本を作りたい」という思いをもつ人（起案者）がインターネットでその趣旨を発信し、賛同した人（支援者）から

の資金を募ることで出版費用を調達する「クラウドファンディング」という形での出版を見かけるようになってきました。

今回は、郷土資料の中からクラウドファンディングにより出版されたものを一部ご紹介します。

『HACHINOHE PHOTOJOURNEY』（八戸フォトジャーニー制作室編 2018～）

八戸の魅力を写真で紹介するフリーペーパーとして2018年に創刊されました（第4号までのタイトルは『八戸フォトジャーニー』）。八戸フォトジャーニー制作室代表の高田幸枝氏が編集から発行まで全てお一人でこなしています。

今年4月の第9号刊行の際は、刊行存続プロジェクトとして「参加型フリーペーパー」にリニューアルし、クラウドファンディングに成功しました。

『季刊あおもりのき』別冊 ねぶた祭り（ものの芽舎 2021）

40年の長きにわたり青森県のタウン誌として情報発信し、2019年に惜しまれながら終刊した『あおもり草子』（企画集団ぷりずむ）の後継誌として、翌2020年に『季刊あおもりのき』が創刊されました。

『あおもり草子』の頃から毎年欠かさず刊行されてきた増刊号『ねぶた祭り』を引き続き刊行するため、雑誌創刊前の『ねぶた祭り 今、思いをつなぐ。』（「あおもり草子」後継誌刊行プロジェクト 2020）と併せて、2年にわたりクラウドファンディングを実施しました。

『奇跡に出逢う津軽33観音巡り』（横山 椎乃著 2022.3）

津軽33観音巡りを後世に残したいと、著者がクラウドファンディングにより資金調達して出版しました。

江戸時代すでに盛んだった西国33観音巡りの各所から砂を持ち帰り、津軽に埋めた33か所が由来と言われています。観音様なのに神社や鳥居と一緒にあるなど、神仏習合の名残が色濃く残る観音巡りは全国でも珍しいとのこと。

『あおもり移住ぼちぼち珍道中』（井上 じゅんこ著 2023.4）

21年前、兵庫県から青森県へ家族4人で移住してきた著者が、その経験をまとめた本を自費出版するにあたり、クラウドファンディングを利用しました。

ねぶた祭りがきっかけとなった移住、青森での仕事と子育て、自然や人との関わりなどが綴られています。

今回ご紹介した資料は、いずれも貸出可能です。どうぞご利用ください。

ようこそ文学館へ！

近代文学館資料の紹介(第45回)

特別展「あおもりのえほん」展示資料から

青森県近代文学館では令和5年7月1日から10月9日まで特別展「あおもりのえほん」を開催します。今回は展示資料の中から、『7人の漫画家 名句のせかいを描く』（漫画家の絵本の会）と、馬場のぼる画額「分け入っても分け入っても青い山 山頭火」をご紹介します。

①『7人の漫画家 名句のせかいを描く』（漫画家の絵本の会 1999年3月10日）

「11ぴきのねこ」シリーズで知られる馬場のぼる(三戸町生まれ)は、自身は絵本作家ではなく、「漫画家が絵本を描いている」という姿勢を貫いていたそうです。漫画家の団体「漫画集団」に所属していた馬場のぼるは、「漫画集団」のメンバーの中で絵本に関連する仕事をしている漫画家により構成される「漫画家の絵本の会」(1973年～)の結成時から同人として活動に参加していました。



同会の25周年記念で発刊されたこの書籍は、「有名俳人の俳句に絵をつける」というテーマで開催されてきた俳句絵展での作品を収録したものです。佐川美代太郎が正岡子規、多田ヒロシが芥川龍之介、長新太が与謝蕪村、永島慎二が種田山頭火、馬場のぼるが小林一茶、柳原良平が夏目漱石、やなせたかしが松尾芭蕉を担当しており、各々の解釈に基づく遊び心溢れる作品ばかりです。「漫画家の絵本の会」はこの書籍により第28回日本漫画家協会賞特別賞を受賞しました。

②馬場のぼる画額「分け入っても分け入っても青い山 山頭火」

『7人の漫画家 名句のせかいを描く』において小林一茶の句を担当した馬場のぼるについて、やなせたかしは同書の巻頭で『ぼくに一茶がぴったしといったのはやなせさんでしょう』といくらか不満そうな口調でした。本人は別の俳人を描きたかったかもしれません。」と述べています。

馬場のぼると親交のあった、青森市出身の三上強二は、「この本が出た後に馬場さんが私に絵を贈って下さった。それは『分け入っても 分け入っても 青い山』の山頭火の句に、行脚姿をし



た山頭火を描いたものであった。そのことから私なりに、馬場さんが本当に描きたかったのが山頭火であり、おそらくその「生きざま」を求めていたのではなかったか……。」

(三上強二「馬場のぼるの仕事」『文芸あおもり』第148号より)と述懐しています。多くの人々に愛され続ける「ばばネコ」が種田山頭火に扮するこの絵からは、馬場のぼるの作品らしい温かみを感じられ、見る人の心を和ませてくれます。

カウンターからひとこと (第46回)



今回は、**座席予約**についてご紹介します。

座席予約とは、インターネット席や電源供給席など一部の席を利用する場合に必要な予約です。館内の座席予約端末から予約できます。

●座席の予約方法

1. 利用者カードを

バーコードリーダーにかざし (①)、

座席種別を選択します (②)。

利用者カードをお持ちでない方、お忘れの方はカウンターへお声がけください。

2. 利用したい端末及び時間帯を

選択し (③)、「予約」ボタンを

クリック (④) すると「予約しました」とポップアップが表示されます。

「OK」ボタンをクリック (⑤) すると

座席予約レシートが出てきます。

これで予約完了です。

インターネット席やマイクロ席はレシートに印字されたパスワードを入力することで利用できます。

座席予約レシートを座席にある透明ファイルに挟んでご利用ください。

利用者カードをバーコードリーダーにかざし、座席種別を選択して下さい。
(※利用者カードがない方はお手数ですが、窓口職員にお問い合わせ下さい)

① 利用者ID: 90007956 確定

②

- データ閲覧席の予約
- インターネット席の予約
- 電源供給席の予約

取消



インターネット席予約

(パスワードを印字したレシートが発行されます)

予約ボタンを押してインターネット席を予約してください

	ネット 1	ネット 2	ネット 3	ネット 4
09:30~10:00	予約			
10:00~10:30				
10:30~11:00				
11:00~11:30				
11:30~12:00				
12:00~12:30				
12:30~13:00				
13:00~13:30				
13:30~14:00				

※インターネット席の予約は、1回につき連続する1コマまでです。
※レシートが発行されない場合はお手数ですが、窓口職員にお問い合わせ下さい。

③

パスワードを入力してください

⑤

④ 予約

●座席予約対象席

- ・インターネット席 (4席)・・・インターネットを利用できます。
- ・電源供給席 (6席)・・・コンセントがあり、持参したパソコン等を利用できます。
- ・マイクロリーダー (2席)・・・マイクロフィルムで保存している新聞等を閲覧するための専用機を利用できる席です。
- ・新聞データベース (1席)・・・東奥日報及びデーリー東北をパソコンで閲覧できる席です。
- ・NDL (1席)・・・図書館向けデジタル化資料送信サービス及び歴史的音源サービスを利用できる席です。
- ・デジタルアーカイブ (1席)・・・デジタルアーカイブを閲覧できる席です。
- ・AVブース (2席)・・・CDやDVDなどの視聴覚資料を利用できる席です。

インターネット席は1回30分まで、その他の席は1回2時間まで利用可能です。

令和5年度利用案内

● 開館時間

- 一般閲覧室、参考・郷土室 午前9時から午後7時まで
- 児童閲覧室 午前9時から午後5時まで
- 近代文学館 午前9時から午後5時まで

● 休館日

- 年末年始 令和5年12月29日から令和6年1月3日
- 特別蔵書点検期間 令和5年5月22日から5月25日まで
令和5年11月30日から12月6日まで
- 館内整理日 毎月第4木曜日（11月のみ第5木曜日）
- サービス活動点検・検討日 4月3日、奇数月第2水曜日

● 貸出点数・期間

- 1人 10点まで ※ CDなどの視聴覚資料を含みます。
- 2週間 ※ 他の方の予約がなければ、期間の延長ができます。

● 住所・電話番号

〒030-0184 青森市荒川字藤戸119-7

- 一般閲覧室 TEL 017-729-4300
- 参考・郷土室(レファレンス) TEL 017-729-4311
FAX 017-762-1757
- 図書館事務室 TEL 017-739-4211
FAX 017-739-8353
- 企画支援課 TEL 017-739-1456
- 近代文学館 TEL 017-739-2575
- 開館時間・休館日・展示のお知らせ TEL 017-729-4111

● ホームページ

<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>



令和5年度行事予定

● 図書館の行事

- おはなし会 第2土曜日 午後2時から2時30分まで
- おしえて先生！知るしるする探検隊 第4土曜日 午後2時から2時30分まで
(12、3月を除く)

● 近代文学館の行事

- 特別展「あおもりのえほん」 7月1日～10月9日
 - 企画展「あおもり文学食堂（仮）」 12月上旬～3月上旬
- ※詳しい日程等については当館ホームページでお知らせします。

図書館だより 第46号
令和5年6月15日発行
編集・発行 青森県立図書館